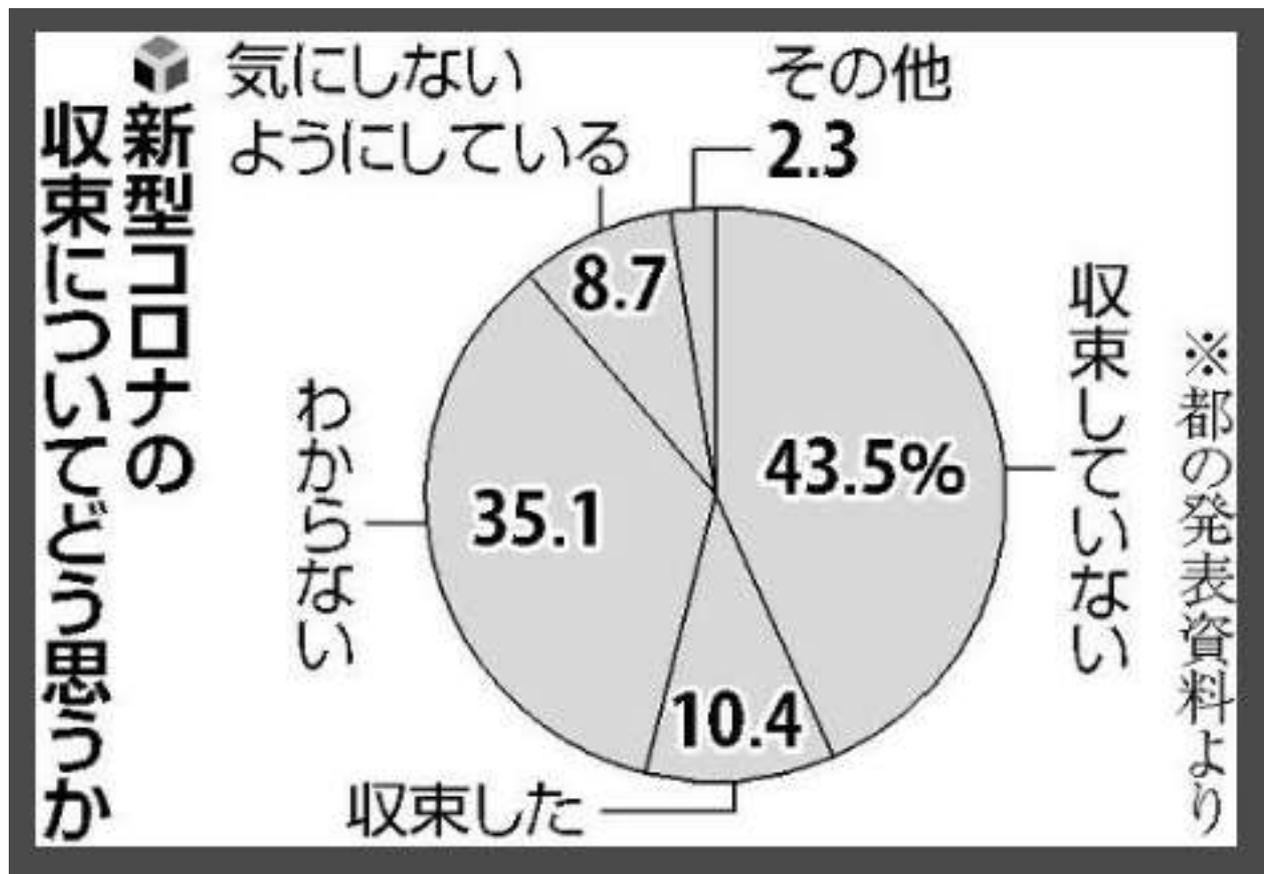


「コロナまだ収束していない」都民の4割超、理由は「通常の薬で治せない」最多…「感染再拡大に不安」68%

2024年3月26日読売新聞



東京都は、都民約1万人を対象にした新型コロナウイルスに関するアンケート調査の結果を公表した。コロナについて「収束した」と回答した人は1割だったのに対し、「収束していない」と答えた人が4割を超えた。

アンケートは2月9～19日、都内在住の20～70歳代の男女計1万531人にインターネットで実施した。

コロナについて、「収束した」と答えたのは10.4%で、「収束していない」との回答は43.5%だった。35.1%が「わからない」と答え、「気にしないようにしている」も8.7%いた。

収束していないと回答した人に理由を複数回答で尋ねたところ、「(抗生剤など)通常の薬で治せない」(50.3%)が最多で、「自分の周りで感染している人がいる」(39.7%)、「世界では感染者数が増加傾向にある」(32.0%)と続いた。

また、「感染の再拡大への不安がある」とした人は68.7%に上った。感染対策のマスク着用について、「いつも気をつけている」「まあ気をつけている」の合計も72.1%に達した。

コロナの医療提供体制は4月から通常へと移行するが、アンケートをとりまとめた放送大の奈良由美子教授は「発生から4年が経過しても、感染リスクに対する都民の意識に大きな変化はない」と分析している。